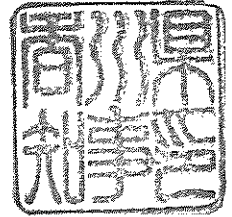




19道路第8819号
平成19年 5月8日

国土交通省道路局長 殿

香川県知事 真鍋武紀



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記については、別紙のとおり回答します。

(別紙)

中期的な計画の策定にあたり、
今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見(香川県)

<重点化を進める上で特に優先度の高い政策>

四国の8の字ネットワークを形成する高松東IC～鳴門IC間の早期4車線化

- ・四国の8の字ネットワークは、地域の活性化を図るとともに、災害時の緊急輸送路や救急搬送路となる必要不可欠な社会基盤である。
- ・中でも四国横断自動車道の暫定2車線区間である高松東IC～鳴門IC間については、交通量も年々増加しており、交通事故も多発しているところである。
- ・安全確保と交通の円滑化を図るため、暫定2車線区間の早期の4車線化が必要である。

本州四国連絡高速道路の料金値下げ

- ・瀬戸大橋の交通量は18年度の1日平均で約14,400台程度に留まっている。
- ・特に瀬戸大橋は本州と四国を結ぶ大動脈であるとともに、広域的な経済社会の発展や文化の振興に資する重要な社会資本であるにもかかわらず、通行料金の高さからその効果が十分発揮できておらず、四国に本州との地域格差が生ずる大きな要因の一つとなっている。
- ・既存の高速道路ネットワークの一層の活用と、西日本高速道路株式会社と本四連絡高速道路株式会社の統合を促進するとともに、我が国の経済の活性化と地域格差を是正するため、通行料金の大幅な引き下げが必要である。

必要な道路の整備

- ・交通事故の抑制や交通渋滞の解消など安全かつ円滑な道路交通の確保を図るため、県民の道路整備に対するニーズを踏まえた、国道、県道、市町道の整備が必要である。
 - 国道11号(東讃地域の早期整備、西讃地域の早期の事業化)
 - 国道438号(飯山バイパス、岡田バイパス) など

歩行者、自転車道の整備

- ・本県は平坦な土地に加え、少ない降水量・多い日照時間となっており、全国トップクラスの自転車保有率など、自転車利用に適した環境である。

- ・しかしながら全国レベル以上の道路改良率の中、市町道の歩道設置率は全国レベルより低い状況にあり、バリアフリー化も低水準である。
- ・また、自転車に関する事故も年々増加している。
- ・本県の特徴を生かした自転車利用環境整備を図るとともに、高齢者や身障者が安全に移動できる歩行者空間整備が必要である。

<効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと>

スマートインターチェンジの活用

- ・ I C間の長い区間に、高速道路の利用率向上(時間短縮など)や一般道の渋滞緩和などの観点から、スマートインターチェンジ設置を検討する。

○府中湖PA

既存ストックの更新

- ・高度成長期において、多くの橋梁等が建設され、今後急速に耐用年数を超えることが懸念されており、本県においても、建設後60年以上の橋梁が20年後には現在の5%から40%以上になるなど、道路資産のストック管理が課題となる。
- ・今後の大量更新時代を目前に、橋梁やトンネルなどの既存施設のライフサイクルコストの最小化を考慮した、効率的、計画的な補修・更新が必要である。

<その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見>

高速道路の標識に係る規制の緩和

- ・高速道路のSAやPAなどに、民間施設の営業が増えてきているが、その商業的を数km手前で標識で行えるように出来ないか。

○香川県であれば、「うどん」のマークを表示する等